

1-99-30 陸軍歩兵伍長・佐野正吉氏関係資料リスト(45件70点)

No.	資料名称	点数	年 代	寸法 (縦*横, cm)	備 考
1	佐野正吉氏肖像写真	2	昭和期	①28.6*22.5 台紙30.1*23.3 ②26.8*20.3	佐野正吉氏(1915～37)の軍服姿。 ①は台紙貼り写真。左下にエンボス加工で「マヘタ」と文字が入っている。 ②は①の拡大写真。
2	佐野正吉氏書簡	3	昭和12～13年 (1937～38)	本紙：96.4*39.4 全体：168.0*50.7 軸長56.1	戦地の佐野正吉氏が父・佐野幸次郎氏へ宛てた書簡2通と、大日本帝国陸軍 富士井末吉(1886～1968)部隊長の為書1枚の計3点がまとめて軸装されている。 上巻部分に「幸次郎四男 佐野正吉絶筆」とあるが、五男の誤り。共箱、メモ書き付属。 ・為書「壮烈泣鬼神／江南之散華／吊(弔の俗字) 佐野正吉君／戊寅春 富士井部隊長」昭和13年(1938)春／32.0*24.9 ・昭和12年(1937)10月9日付佐野正吉書簡(吉住部隊 富士井部隊本部 玉井隊 佐野正吉→高岡市二番町三二 佐野幸次郎)／便箋20.0*15.0／封筒19.4*16.8 ・昭和12年(1937)10月14日付佐野正吉書簡(上海派遣 吉住部隊 秋山部隊 富士井部隊 玉井隊 佐野正吉→大日本 富山県高岡市二番町 佐野幸次郎)／便箋①20.0*15.1／便箋②20.2*15.0／封筒12.3*16.0
3	佐野正吉氏出征のぼり	1	昭和期	60.0*28.9 喪章30.7*5.6 棒：長さ38.4	「祈 戦勝／出征軍人 佐野正吉君／御製 いかならむことにあひても撓まぬは／わかきしまのやまとたましい／明治天皇御聖徳奉賛会」。 のぼりは山切り型で、上部には木製の棒と掛け紐、そして喪章と思しき黒い布が付いている。 「いかならむ……」の御製(ぎょせい／天皇の作る詩文や和歌)は、明治天皇が詠まれたもの。
4	佐野正吉氏略歴額	1	昭和12年(1937)以降	本紙16.1*21.4 額18.3*23.6	佐野正吉氏の出征と戦死について、「昭和十二年九月中支戦／線へ出征、同年十月／十五日中支陳家行／ニ於テ戦死／歩兵伍長ニ進級」等と記された紙が簡易的に額装されたもの。 下側のフレームが外れている。また、掲示によって開いた穴が多数ある。
5	佐野正吉氏略歴書	1	昭和12年(1937)以降	25.3*27.6	佐野正吉氏について、「十月十五日陸／家橋附近ニ於／テ戦死」等と記されたもの。 上部の両角には掲示によって開いた穴が複数ある。
6	銅造佐野正吉氏胸像	1	昭和期	幅31.1*奥行17.5* 高さ37.0	正吉氏の写真をもとに作られた銅像。背中部分に制作の経緯の陰刻「勲八等功七級故陸軍歩兵伍長 佐野正吉／昭和十二年十月十五日支那／事変上海附近ノ戦闘ニ／於テ中華民國江蘇省宝／山県陸家橋ニ於テ／左側腹部貫通銃創ヲ／受ケ戦死／雲涛作」あり。 作者は高岡市御旅屋町出身の銅造原型師・山本雲涛(うんとう／1891～1968)。
7	佐野正吉氏肖像写真・靖國神社臨時大祭記念写真立て	2	昭和13年(1938)	写真6.8*5.1 写真立て 20.3*14.2	写真はNo.1と同じもの。 写真立ての台紙にあたる部分には、靖國神社の鳥居や本殿、拝殿、大村益次郎銅像などの絵や、「贈／昭和十三年／靖國神社臨時大祭記念／陸軍省、海軍省」の文字が陽鑄されている。 裏板には墨書「佐野正吉 幸次郎五男／昭和十二年十月十五日／中支陸家橋ニテ戦死」あり。
8	靖國神社臨時大祭案内書類送付用封筒	1	消印：昭和13年 (1938)9月27日	28.8*21.0	東京陸軍省内 靖國神社臨時大祭委員→富山県高岡市二番町三二 故陸軍歩兵伍長佐野正吉遺族 佐野幸次郎。

No.	資料名称	点数	年 代	寸法 (縦*横, cm)	備 考
9	靖國神社臨時大祭御案内書類用封筒	1	昭和13年 (1938)9月	28.1*20.4	靖國神社臨時大祭委員→遺族（第4250番）。第一～九の書類等（①合祀通知書、②案内状、③証明書、④参拝証、⑤参拝ニ関スル回答書(返信用)、⑥遺族徽章、⑦参拝遺族の心得、⑧参拝遺族行動一覧表、⑨陸海軍省贈呈金）の内容目録が記載されている。
10	靖國神社合祀通知書	1	昭和13年 (1938)10月	19.0*13.3 封筒20.3*14.8	No.8の第一。 靖國神社臨時大祭委員長 陸軍大将 杉山 元→故陸軍歩兵伍長佐野正吉遺族。 封筒あり。
11	靖國神社合祀案内状	1	昭和13年 (1938)9月	18.5*26.6	No.8の第二。 靖國神社臨時大祭委員→遺族（第4250番）。
12	遺族徽章	1	昭和13年(1938) 秋	6.9*3.7 封筒10.5*7.4	封筒あり。「43/4250」は靖國神社合祀の際の遺族番号で、第43班4250番の意。また、「□…□十三年□…□」の文字も入っている（封筒にも記載されている「昭和十三年秋」カ）。 No.12、37、38は、木箱（富山ウスキ時計店）にまとめて入っていた。
13	昭和十三年十月 靖國神社新合祀者遺族の心得	1	昭和13年 (1938)10月	25.8*42.3	No.8の第七。 印刷物。
14	靖國神社臨時大祭祭神遺族行動一覧表	1	昭和13年 (1938)10月17～24日	26.3*101.1	No.8の第八。 印刷物。
15	参拝遺族行動一覧附表	1	昭和13年 (1938)10月17～22日	26.7*66.0	印刷物。
16	戦死者遺族日程表（高岡市）	1	昭和13年 (1938)10月16～22日	27.3*39.3	印刷物。 遺族は10月15日午後6時半までに高岡駅に集合し、午後7時23分発上野行き臨時急行列車で靖國神社へ向かった。
17	昭和十三年十月 靖國神社臨時大祭遺族班別表	1	昭和13年 (1938)10月	25.6*38.9	印刷物。靖國神社臨時大祭委員発行。
18	靖國神社臨時大祭受付場所通知書	1	昭和13年(1938)	15.5*10.8	印刷物。赤色の紙が使用されている。
19	靖國神社臨時大祭参拝遺族優待券封筒	2	昭和13年 (1938)10月	各 20.3*14.2	靖國神社臨時大祭委員発行。 5種類の優待券（東京市電車無賃乗車兼、遊就館（靖國神社内）参観券、国防館（現靖国会館）参観券、上野動物園参観証、靖國神社外苑興行物観覧券）の内容目録が記載されている。他に弁当券5枚も同封されていた。
20	東京市内見学遊覧バス割引二就テ	1	昭和13年 (1938)10月	15.0*9.7	印刷物。靖國神社臨時大祭委員発行。
21	靖國神社臨時大祭参拝用鉄道乗車証送付ノ件	2	昭和13年(1938) 頃	本紙23.1*15.4 別紙23.0*15.6	印刷物。麴町区永田町陸軍大臣官房→兵事係。 別紙（国有鉄道無賃乗車証使用に就て）あり。
22	死者人員表	1	集計期間：昭和3年(1928)～11年(1936)12月末日	27.2*39.3	印刷物。 陸軍・海軍・陸海軍以外の死者人員表、陸軍・海軍・陸海軍以外の病死者人員表が掲載されている。
23	『別格官弊社 靖國神社一覧』	1	昭和13年 (1938)9月30日 改訂22版発行	17.6*9.6	冊子（32頁）。著作兼発行者：靖國神社社務所。 靖國神社の各施設の写真や境内図に続き、起源や社号並社格、祭神などの項目についての説明文が掲載されている。
24	『靖國神社御祭神 遺族の葉』	1	昭和13年 (1938)9月30日6版発行	18.8*12.8	冊子（50頁）。著作兼発行者：靖國神社社務所。 国家や靖國神社についての説明文ののち、遺族の日常の心得が記されている。

No.	資料名称	点数	年 代	寸法 (縦*横, cm)	備 考
25	『大御心』	1	昭和13年 (1938)9月30日 第13版発行	16.7*9.2	冊子(18頁)。「大御こゝ路」。著作兼発行者: 靖國神社社務所。 大御心とは、天皇の御心のこと。
26	御府に就て	1	昭和13年(1938) 頃	27.3*19.6	印刷物。 御府(ぎょふ)とは、戦利品や記念品、また戦没者 の名簿が納められた施設のこと。皇居の吹上御苑 (東京都千代田区)にある。
27	顕忠府記	1	昭和13年(1938) 頃	27.3*19.7	印刷物。 顕忠府(けんちゅうふ)は、御府の中でも日中戦争 に関連する事物を収蔵・保管した施設。遺族行動 一覧表に参拝予定がある。
28	聖徳欽仰会趣意書並ニ 会則	1	昭和期	19.7*54.8	印刷物。聖徳欽仰会発行。
29	国旗掲揚塔建設につき 発起人等書付	1	設置:昭和14年 (1939)11月	12.0*33.3	「佐野正吉戦死記念事業」として、高岡市二番町 の国旗掲揚塔建設に関わった公道会発起人等の一 覧表。寄附者として名を連ねている正吉氏の父・ 佐野幸次郎氏と兄・喜作氏らが中心となって進め たもの。 「昭和十四年十一月建之／二番町幼稚園前□…□ ／敗戦後マッカーサの命に依□…」とあり(破れ により判読不可)、戦後はマッカーサーの命令に よって撤去されたという。
30	日の丸国旗	1	昭和14年 (1939)11月	178.2*245.6	高岡市二番町の国旗掲揚塔で使われていた国旗。 紐が三ヶ所に付いている。 シミあり。角に破れが一ヶ所あり。
31	高岡商業相撲部メダル	1	昭和期	4.0*3.6	「祝」「贈 佐野君／高岡商業相撲部」。 高岡商業は、現 富山県立高岡商業高等学校。
32	富山県立高岡商業学校 卒業記念メダル	1	昭和8年(1933)	3.3*2.4	「卒業記念」「県立／高岡商業学校／卒業記念／ 2593」。皇紀2593年＝西暦1933年＝昭和8年。 富山県立高岡商業学校は、現 富山県立高岡商業高 等学校。
33	昭和六年乃至九年事変 従軍記章	1	昭和期	8.2*3.7	満州事変や第一次上海事変の従軍者に授与され たもの。共箱あり。
34	支那事変従軍記章	1	昭和期	8.5*3.6	支那事変(日中戦争／昭和12年(1937)～)の従軍 者に授与されたもの。共箱あり。
35	功七級金鵄勲章	1	昭和期	8.7*4.3 略綬: 径1.3*厚さ 1.0	略綬あり。共箱あり。 正吉氏に授与されたものと思われる。
36	勲八等白色桐葉章	1	昭和期	7.0*3.7 略綬: 径1.3*厚さ 1.0	裏面に「勲功旌章」の文字あり。略綬あり。共箱 あり。 正吉氏に授与されたものと思われる。
37	日本徴兵保険之章	1	昭和期	3.8*2.4	表面に「勤儉尚武」の文字あり。 No.12、37、38は、木箱(富山ウスキ時計店)にま とめて入っていた。
38	軍人遺族記章	1	昭和期	10.3*5.6	No.12、37、38は、木箱(富山ウスキ時計店)にま とめて入っていた。
39	帝国在郷軍人会会員徽 章	1	昭和期	2.7*1.8	
40	佐野幸次郎書簡(慰問 として氷砂糖送付につ き)	1	昭和17年 (1942)2月18日	25.2*36.1	印刷物。佐野幸次郎(正吉氏父)→二番町出身軍 人。 宛名を空欄にして複数枚複写したものと思われ る。
41	故佐野正吉氏毎歳祥月 経志領収証	1	昭和18年 (1943)8月14日	25.8*18.8 封筒20.4*8.3	富山県東砺波郡城端町 真宗大谷派城端別院祠堂方 →高岡市二番町 佐野幸次郎。正吉氏(釋殉誓院正 宣)の祥月の経志(読経代金)5円を納めたもの。 封筒あり。

No.	資料名称	点数	年 代	寸法 (縦*横, cm)	備 考
42	勝如上人額字「至誠心」	1	昭和期	33.4*68.1 筒：長さ35.4* 径3.3	印刷物。破れあり。共筒あり。 引首印(白文長方印)「龍谷第一流」、「至誠心／ 光照」、白文方印「光照之章」、朱文方印「勝 如」。筒「勝如上人御額字 本派本願寺」。 勝如(大谷光照／1911～2002)は、浄土真宗本願 寺派第23世。
43	愛国婦人会通常会員章	1	昭和期	5.9*2.6	
44	日本赤十字社特別社員 章	1	明治21年(1888)	7.5*3.7 略綬：径1.3*厚さ 1.1	略綬あり。共箱あり。
45	バッジ類	19	—	—	・高岡保育園3点 ・北国新聞社1点 ・国勢調査3点 ・五七の桐に保1点 ・北日本新聞社1点 ・朝日新聞社1点 ・製菓、菓子関係3点 ・その他(不明)6点